蘆花恒春園ニュース 2024年7月号

蘆花恒春園をご利用いただきありがとうございます。

雨かと思えば厳しい暑さの日も。皆様公園にお越しの際は暑さ対策をお願いいたします。
竹林の中はちょっと涼しいですよ。

園内の状況

恒春園・墓所

マヤラン
いわゆる
希少種です

花の丘

夏のお花が
咲き揃いました

今月の予定（詳しくはサービスセンターまで）

～7(日)	七夕飾り	⇒	サービスセンター前で飾りつけできます
6(土)	第32回蘆花文学セミナー	⇒	5月に続いて2回目。今からでも充分楽しめます
7(日)	花の丘フェスタ	⇒	七夕まつり。こちらも飾りつけできます
8(月)～	自然観察会	⇒	いよいよウバユリをお楽しみいただけます

先月の出来事

2(日)	花の丘フェスタ・パークライブ	⇒	残念ながら雨天のため中止。今月にご期待ください
9(日)	ガイドツアー	⇒	飛入り参加の方もご一緒しました
	シャボン玉イベント	⇒	平日午前中に実施。今月も実施予定です

コラム～職員のおすすめ花日記～

クチナシ（学名: Gardenia jasminoides）
アカネ科クチナシ属
常緑低木

夏に一重または八重の白い花が咲き、一重咲きのみ秋に橙色の実がなります。花は甘い良い香りがするため、3大香木のひとつとされ、香水などに使われています。（シャネル「ガーデニア」、グッチ「ガーデン ゴージャスガーデニア」など）実は薬用や黄色の着色料（たくあん、栗きんとん等）、染料として古くから使われています。

古今和歌集には素性法師が詠んだ句があります。
「山吹の花色衣ぬしや誰問へど答へずくちなしにして」
（山吹の花のような色の衣に持ち主は誰ですか、と聞いても答えません。それはくちなしだからです。）

蘆花恒春園豆知識（表書院／梅花書屋・ばいかしょおく）

母屋から書院につながる廊下には大きな火鉢や洗濯板、ひき臼、壺が展示されており、程よい懐かしさと同時に生活の一端がうかがえます。廊下を左に曲がると愛子夫人が弾いたオルガンがあり、これは足踏み式で現存する国産最古級との評価があります。
その先は梅花書屋につながり、粕谷に転居の2年後購入・移築したもので、その名は西郷隆盛の書道の師である鮫島白鶴翁の書に由来します。横額に収められたその書は現在修復中であり、掛軸とともに来年早々には戻ります。この建物には特に展示物はなく、8畳6畳のゆったりとした空間が楽しめます。案内画像にも使われる庭の紅葉が照り映えるころには、その鮮やかさとともに恒春園の静寂な冬がそう遠くないことを思わせます。
ここではかやぶきコンサートと称して、年数回クラシック等の音楽会が催され、今年は愛子夫人生誕150年を迎えることから、5月にその人生を日本舞踊で辿りました。

その他

- 園内の枯枝処理・草刈等を順次進めております。作業中はご不便をおかけしますが安全第一で作業しますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
- ドッグマナー(フン持帰り、車止めへのオシッコ禁止)にご協力お願いいたします。

蘆花恒春園サービスセンター
■住所：〒157-0063 東京都世田谷区粕谷1-20-1
■TEL：03-3302-5016

緑と水 まちを豊かに
公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association